

平成26年度

自己点検・評価書  
(学校評価報告書)

附属天王寺中学校

## 1 附属天王寺中学校の現況

### (1) 学校名

大阪教育大学附属天王寺中学校

### (2) 所在地

大阪府大阪市天王寺区南河堀町4-88

### (3) 学級数・収容定員

12学級(1学年4学級) 収容定員480人(1学級40人)

### (4) 幼児・児童・生徒数

479人(男子239人・女子240人)

### (5) 教職員数

校長(併任) 1人, 副校長 1人, 主幹教諭 1人, 指導教諭 1人, 教諭 18人(うち, 臨時的雇用1人), 養護教諭 1人, 非常勤講師 6人  
事務職員 3人(専任1人, 事務補佐員2人), 臨時用務員(用務員) 2人, 臨時用務員(調理師) 0人

## 2 附属天王寺中学校

本校は、昭和22年4月に大阪第一師範学校(現大阪教育大学)に設置された。昭和31年に大阪学芸大学(現大阪教育大学)に附属高等学校が設置された。それ以降、附属高等学校天王寺校舎とともに6年一貫教育の研究、実践を続けてきた。

## 3 附属天王寺中学校の役割

- (1) 大阪教育大学と一体となって、教育の理論と実際に関する研究を行うこと。
- (2) 本学の教育実習機関として、実習生を随時受け入れ、適切な指導を行うこと。
- (3) 教育に関する理論を研究し、教育実践に役立てること。
- (4) 本学が行う現職教員の再教育の一端を担うこと。

## 4 附属天王寺中学校の学校教育目標

- 正義を愛し、真理を追究する旺盛な向学心を持ち、透徹した判断力を養う。
- 強固な意志を持ち、頑健な心身を育て、自主的・積極的な実践力を身につける。
- 他人を愛し、自然の恵みに心寄せる豊かな感性を育てる。
- 社会の一員となるための、責任感・遵法・奉仕・協調の精神を養う。

## 5 附属天王寺中学校の学校教育計画

### 1 「学びの共同性」に関すること

学校環境の質の保障が求められている。生徒が安心できる安全な環境づくりに取り組む。  
コミュニケーション能力の育成が求められている。生徒会などを有効に活用する。

### 2 「学びの自律性」に関すること

学力保障が求められている。より質の高い授業を目指す。  
目的意識をもった協同的な探求活動が求められている。自由研究を中心とした研究を続け、指導法等を検討する。高校のSSHに繋げる。

### 3 「大学との共同研究」に関すること

国の拠点、地域のモデルが求められている。天王寺地区共同研究を大学の科学教育センターと共同で進める。

教育実習の充実が求められている。効果的な実習の在り方を模索する。

### 4 「学びのもり」に関すること

附属天王寺の情報発信が求められている。HPの活用と広報活動を充実させる。

6 附属天王寺中学校の平成26年度 重点目標(評価項目), 具体的な取組内容(評価指標)・評価結果

自己評価		学校関係者評価	
A	高いレベルで達成できた	A	とても適切である
B	達成できた	B	おおむね適切である
C	一部達成できなかった	C	あまり適切でない
D	ほとんど達成できなかった	D	適切でない
		E	判定できない

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正義を愛し, 真理を追究する旺盛な向学心をもち, 透徹した判断力を養う。</li> <li>●強固な意志をもち, 頑健な心身を育て, 自主的・積極的な実践力を身につける。</li> <li>●他人を愛し, 自然の恵みに心寄せる豊かな感性を育てる。</li> <li>●社会の一員となるための, 責任感・遵法・奉仕・協調の精神を養う。</li> </ul>
学校教育計画	<p>1 「学びの共同性」に関すること</p> <p>学校環境の質の保障が求められている。生徒が安心できる安全な環境づくりに取り組む。</p> <p>コミュニケーション能力の育成が求められている。生徒会などを有効に活用する。</p>

本年度の重点目標 (評価項目)	具体的な取組内容 (評価指標)	自己点検評価			学校関係者評価		学校関係者評価を踏まえた改 善策
		達成状況	改善点	評価	意見・理由	評価	
1 「学びの共同性」に関すること	生徒が安心できる安全な環境づくりに取り組むとともに, 自治会・生徒会活動を有効に活用する。	安全な環境づくりおよび, 自治会・生徒会の有効活用は順調に進んでいる。	さらに環境づくりに取り組む。	A	・生徒会活動も活発に行われているように感じられます。 ・草刈りは今後生徒にもさせるべきだと思う。	A	引き続き, 安全な環境作りを続ける。 保護者, 生徒, 教員が協同で環境整備・維持に取り組む。
	生徒と保護者に必要な情報を伝える。(進路)	進路説明会(生徒向け)や保護者説明会を適宜実施し, 必要な情報を提供した。	個別の大学からの資料の案内方法を検討する。	A	・更なる情報収集を期待します。 ・まだまだ情報量が少ないと思います。	A	一層情報収集に努め, 引き続き必要な情報を提供していく。
	基本の確認と突発的な事象を想定した訓練を実施	避難訓練の中で, 避難経路や緊急時の教員の動	不審者対応の避難訓練では方法を検討する必要が	B	・不審者対応をよく検討して欲しい。	A	引き続き, 不審者対応等に関する避難訓練等を検討

	する。(健人)	き方など基本的な部分は確認することができた。	ある。実際に不審者を想定して動き回るなど違った形での訓練も必要である。		・様々な事案を想定した訓練を行っていただきたい。		していく。
	パソコンの入替え(XPの更新), 管理, 廃棄の実施計画や方針決定をする。不用品の処理, 営繕も含めて, 環境整備に努める。(庶務)	教育環境をよりよくしたいと願って活動した。廃棄物品の処理, 営繕の迅速化, 机・イスの予備の準備などには課題が残るが, できる範囲での活動は行った。	XPパソコンの回収・保管, 古紙の処理回数を増やす, 営繕の迅速化のために事務室との連携を密にする, iPad管理(職員室, 電子黒板の設置などに努めた。	B	・その通りだと思いません。	A	引き続き, 教育環境の整備・補修に努める。
	研究発表会の開催に至るまでの活動や手続きを教員全体で共有化する必要があるため, 業務進捗状況を各担当者から全教員へメール発信する。(研究)	ほとんど活動できなかった。	会議での口頭連絡ができるように各部署で自覚する。	D	・特になし。	B	情報共有の適切な方法を検討する。
	適宜集団活動を取り入れつつ, 教材の文章構成を理解した上で, 自分の作文に応用したり, 読みに反映させたりする授業を行う。また, 学校図書館と連携した授業を行う。(国語)	集団活動を取り入れた授業を現代文・古典両分野で実践し, 文学的文章・論理的文章の読解とそれに基づいた表現の授業も実践した。	生徒の集団活動がよりやりやすくなるように, ICT機器や視聴覚機器を積極的に取り入れたい。	B	・ICT機器を取り入れた授業を行ってくださった。	A	引き続き, ICT機器の活用を図っていく。

<p>基礎基本の定着とそれを利用した論理的思考力を養う授業を行う。 (数学)</p>	<p>教科書の内容をきちんと定着させる授業を心がけた。</p>	<p>教材研究の時間をより多く確保できるような、取り組みを検討したい。</p>	<p><b>B</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的思考を養うような授業をたくさんしていただいていると思います。</li> <li>・具体的な内容に触れていない。</li> </ul>	<p>B</p>	<p>引き続き、効果的な教科指導内容を検討していく。</p>
<p>実験におけるグループ内での意見交換や、考察の際の議論など、集団での学習活動におけるコミュニケーション力を高める工夫について、教科会で情報交換し、有効性の検討を行う。(理科)</p>	<p>各々の教員が自分の公開授業の後、個人個人と話し合っ振り返りでしたが、理科の教員同士授業時間帯が重なって、互い公開授業に十分参加できなかったため、教科会としてまとまっ情報の交換は十分ではなかった。</p>	<p>4月当初からの公開授業を、理科として共通テーマでおこない、教科会で振り返る時間をとる。</p>	<p><b>C</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒達は集団でコミュニケーションを取りながら活動できていると思います。</li> <li>・先生方の情報交換については実状がわかりません。</li> </ul>	<p>B</p>	<p>引き続き、言語活動の充実を図っていく。</p>
<p>日常の安全点検を徹底し、発見した場合はできるだけ早く補修する。(体育)</p>	<p>用具などの補修はこまめに安全面の確保に努めた。また長年の課題であった大グラウンドの土壌改良工事をおこなうことができた。</p>	<p>安全に授業やスポーツ活動ができるように日常のメンテナンスを心がける。</p>	<p><b>B</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大グラの改良工事を行うことができ、良かったと思います。</li> </ul>	<p>A</p>	<p>引き続き、安全点検行っていく。補修もできるだけ早く行っていく。</p>
<p>各担当の校種、分野間における情報交換を密にし、積極的に相互の実践を公開し合うことで授業力の向上を目指す。 (社会)</p>	<p>教育研究会や近附連における発表等を通して、教員間での情報交換を密に行うことが出来た。</p>	<p>多忙な中ではあるが、平常の授業においても出来る限り相互の授業公開を行っていきたい。</p>	<p><b>B</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>	<p>B</p>	<p>教員間の情報交換を密にし、引き続き、授業力の向上を目指す。</p>

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正義を愛し、真理を追究する旺盛な向学心をもち、透徹した判断力を養う。</li> <li>●強固な意志をもち、頑健な心身を育て、自主的・積極的な実践力を身につける。</li> <li>●他人を愛し、自然の恵みに心寄せる豊かな感性を育てる。</li> <li>●社会の一員となるための、責任感・遵法・奉仕・協調の精神を養う。</li> </ul>
学校教育計画	<p>2「学びの自律性」に関すること</p> <p>学力保障が求められている。より質の高い授業を目指す。</p> <p>目的意識をもった協同的な探求活動が求められている。自由研究を中心とした研究を続け、指導法等を検討する。高校のSSHに繋げる。</p>

本年度の重点目標 (評価項目)	具体的な取組内容 (評価指標)	自己点検評価			学校関係者評価		学校関係者評価を踏まえた改 善策
		達成状況	改善点	評価	意見・理由	評価	
2「学びの自律性」 に関すること	より質の高い授業を目指すとともに、課題研究の指導方法を検討する。	中高共同で授業研究を行うことができた。	さらに有効な授業研究を継続する。	A	・その通りだと思います。	A	引き続き、質の高い授業を目指す。
	中学では「自由研究ガイドブック」の内容を順次更新し、完成に向け作業を進める。その内容を踏まえ、高校での「総合的な学習の時間」の指導方法・評価についての検討をはじめめる。(教務)	「自由研究ガイドブック」の原稿作成を進めたが、全体としての試行には至らなかった。また、高校の「総合」が、内容を改訂しながら実施されているため、評価観点等について中学と対照しながら検討することができなかった。	「自由研究ガイドブック」を作成するための環境整備を行う。高校「総合」に関しては、少なくとも数年間安定して実施できる内容を確立することを優先し、その中に中学の指導・評価と対照できる内容を含むよう留意する。	C	・特になし。	B	「自由研究ガイドブック」の完成を目指す。
	早い時期からの生徒の進路を把握し、適性に合った進路の確認を行う。(進路)	他校受験者も含めて全員の進路希望に沿った進路決定をすることができた。	来年度からの絶対評価に対応した進路指導が必要。	A	・生徒達に将来のことを考えさせるように働きかけていただいているようです。	A	適切な絶対評価作成を目指す。

	自己の学力を点検するための学力診断テストや実力テスト、外部模擬試験を実施する。(進路)	高Ⅰ、高Ⅱにおいて学力測定テストを実施し、高Ⅲにおいて校内実力テストを2回実施した。さらに各学年において外部模試を実施した。	外部模試等の結果分析の活用方法を検討する。	B	・更なる外部模試の活用を希望します。	A	引き続き、学力診断テスト、実力テストを行い、生徒の学力の把握と向上を目指す。
	美化意識を向上させ、清掃指導を徹底させる。(健人)	大掃除等を中心にしっかり清掃指導ができていた。	清掃の時間だけではなくゴミが落ちていたら拾うなど基本的な美化意識も向上させたい。	B	・意識向上が見受けられる。 ・更に美化意識を向上することができれば、なお良いと思います。 ・意外に女子トイレが汚れているように思います。	A	引き続き、美化意識の向上を目指す。
	電子黒板設置と無線LANの接続を生かして、iPadも含めた新しい教育方法の開発への取り組みをサポートする。コールセンターの活用法も模索する。(庶務)	コールセンターの利用が、情報の授業以外には限られている。高校生はスマホを利用することが増えた。教室での電子黒板やiPadによる指導は増えてきた。	コールセンターの管理者が実質的に不在となり、利用者に管理を委ねる形になった。無線LAN、電子黒板については、各教室で活用が見られるようになった。	C	・特になし。	B	コールセンターの効果的な活用を目指す。
	5月中旬以降、2学期中間テストまでの間に、中高全教員が授業公開を行い、実施状況について評価を行う。(研究)	公開期限を研究会まで(11月第2週)とし、公開授業を実施した。公開日が研究会後に及ぶ教員が数名いた。	次年度の公開授業を始業式後から開始できるようにし、できるだけ早い時期での授業公開を推進し、自身の授業力向上に生かせるように計画する。	B	・特になし。	A	各教員の授業公開をスムーズに行い、授業力向上を目指す。
	基礎的な知識を活用し、論理的思考力や読解力・記述力の発展を図る授業を行う。(国語)	単元に即した参考図書を読み読解を深めるように指導し、生徒同士が意見を交換する場を授業に設けた。	生徒が自主的に活動できるように、参考図書を購入し、それを自由に読める態勢をさらに工夫したい。	B	・特になし。	A	引き続き、教科指導の充実を図る。
	中学生・高校生に幅広く広報を行い数学オリンピックの補習を行う。数学的思考力の幅広い向上を促す。(数学)	数学オリンピックの受験者が21人であった。すべて高校生であった。	中学生へのアナウンスをより充実させた。	B	・中学生への働きかけをお願いしたいです。	A	中学生へのアピールも強化していく。



	<p>日常の学習活動に対する生徒の主体性を伸ばす工夫や取り組みを、教科の教員間で共有し、教科会として授業方法の点検に取り組む。(理科)</p>	<p>今年の中3, 中2の理科の学力診断テストの出題の意図・生徒の弱点などの意見交換や教育研究会の授業案は教科会で意見交換をした。しかし年間17回理科の教科会をしたが話し合う案件が多く、他の教員の授業に関する意見交換の時間は十分とれなかった。</p>	<p>公開授業の指導案を教科会で出すなど、公開授業に参加していても、教科会で意見交換できるように工夫する。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>	B	<p>引き続き、教科会議を活発に行い、一層情報交換を密にしていく。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語でなく文で表現する習慣を身につける。</li> <li>・iPad等を活用して、音声面における意識づけを行う。(英語)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーキングやライティング活動の中で、まとまった語数で表現する機会を多く取り入れた。</li> <li>・音声指導をはじめとして発表など表現力育成のためにiPadを用いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことをより実践に活かすための基礎となる定型表現の定着。</li> <li>・iPad, PC, 電子黒板のより効果的な活用方法を探る。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPadなど活用できていて、とても良いと思う。</li> </ul>	A	<p>引き続き、iPad等のICT機器を効果的に活用し、教科指導を充実していく。</p>
	<p>「社会科におけるリテラシーの探求」というテーマに沿った実践を重ね、各々の実践を共有した上で教育研究会に向けて取り組む。(社会)</p>	<p>教育研究会を中心に据え、言語活動を中心とした授業実践を行うことが出来た。</p>	<p>中高の連携をより一層密にし、発達段階に応じた実践を重ねていきたい。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>	A	<p>引き続き、教科指導の充実を図る。</p>

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正義を愛し、真理を追究する旺盛な向学心をもち、透徹した判断力を養う。</li> <li>●強固な意志をもち、頑健な心身を育て、自主的・積極的な実践力を身につける。</li> <li>●他人を愛し、自然の恵みに心寄せる豊かな感性を育てる。</li> <li>●社会の一員となるための、責任感・遵法・奉仕・協調の精神を養う。</li> </ul>
学校教育計画	<p>3 「大学との共同研究」に関すること</p> <p>国の拠点、地域のモデルが求められている。天王寺地区共同研究を大学の科学教育センターと共同で進める。</p> <p>教育実習の充実が求められている。効果的な実習の在り方を模索する。</p>

本年度の重点目標 (評価項目)	具体的な取組内容 (評価指標)	自己点検評価			学校関係者評価		学校関係者評価を踏まえた改 善策
		達成状況	改善点	評価	意見・理由	評価	
「大学との共同研究」に関すること	天王寺地区共同研究を大学の科学教育センターと共同で進めるとともに、効果的な教育実習の在り方を模索する。	共同研究はそれぞれ順調に進んでいるが、全体の調整は不十分である。また、効果的な教育実習のあり方は検討中である。	さらに検討を継続する。	B	・特になし。	A	引き続き、大学(科学教育センター等)との共同研究を進める。教育実習ノートが改訂されるので、より良い活用法を探る。
	大学との共同研究「科学教育プロジェクト」にかかわる基礎研究の実践が期待されているので、環境整備と場の提供に努める。(庶務)	S S H活動・教育実習以外の場面で、大学や他機関との交流が不十分であった。係としては、物的に環境を良くする方向でのサポートを考えていきたい。	本年度は、iPad, 電子黒板について研修あり。ヘッドホンセットが配布され、スカイプや音を使った研究、教育実習などへの活用が期待される。	D	・特になし。	B	まず、係として必要な仕事を検討する。
	教育実習の効果的指導と、実習生の主体的研修に向け、授業収録システムの活用を進める。(理科)	教育実習中は実習生が次の授業の準備に追われ、授業の分析、振り返る時間が十分なく、授業収録システムを使いこなせなかった。	評価の観点を決めて教員や実習生の公開授業で試してみるなど、使用する場面を変えて効率的な活用方法を検討する。	D	・特になし。	B	授業収録システムを活用していく。

	日頃から連絡を密にしてコミュニケーションをとるように心がける。 (体育)	日常の業務の多さから必要に応じての連絡にとどまった。	今後も協力できるように体制を整える。	C	・特になし。	B	引き続き、教員間のコミュニケーションを密にして、教科指導の充実を図る。
--	---	----------------------------	--------------------	---	--------	---	-------------------------------------

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正義を愛し、真理を追究する旺盛な向学心をもち、透徹した判断力を養う。</li> <li>●強固な意志をもち、頑健な心身を育て、自主的・積極的な実践力を身につける。</li> <li>●他人を愛し、自然の恵みに心寄せる豊かな感性を育てる。</li> <li>●社会の一員となるための、責任感・遵法・奉仕・協調の精神を養う。</li> </ul>
学校教育計画	4「学びのもり」に関すること 附属天王寺の情報発信が求められている。HPの活用と広報活動を充実させる。

本年度の重点目標 (評価項目)	具体的な取組内容 (評価指標)	自己点検評価			学校関係者評価		学校関係者評価を踏まえた改 善策
		達成状況	改善点	評価	意見・理由	評価	
「学びのもり」に関すること	附属天王寺の情報を発信するとともに、HPの活用と広報活動を充実させる。	情報発信はHPなどを利用して、効果的に行えた。	さらに充実を目指す。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変充実している。よく情報発信ができています</li> <li>・HPで新着本を探すのにもう一工夫欲しい。生徒に少し任せても良いのかも。</li> </ul>	A	引き続き、情報の発信を行っていく。
	中高の学習指導・生徒指導の内容・方法について共同で議論し、その内容を、天王寺中高全体の学校案内という形で外部に提示することを目指す。 (教務)	校務の事務作業の量や種類が増加する中、学校目標を再検討するに至らなかった。	研究部と協力して、中高共通の指導目標の原案を検討する。	C	・特になし。	A	情報交換できる機会をできるだけ確保するように努める。
	係としてのかかわりはほとんどないが、自由研究やプルーフへの取り組みに向けて、環境整備の点で協力したい。(庶務)	本があり、水が流れ、草木がある公園という印象。せっかくの“学びのもり”だから、いろんなことに利用してほしい。係としての特長な貢献はなし。	保護者・生徒による清掃、ポンプのメンテナンスなどが印象に残っている。塩素水の供給には努めた。発信はしていない。	D	・その通りだと思います。	B	「学びのもり」の管理、活用を一層充実させる。

	<p>研究集録の執筆数が減少している。研究会発表教科は必ず執筆するように要請する。（研究）</p>	<p>声かけが奏功し、執筆者数が増加した。</p>	<p>活動を継続する。</p>	<p><b>B</b></p>	<p>・「あるべき姿」がわからないので評価できません。</p>	<p>B</p>	<p>研究成果をできるだけ外に発信することを啓蒙していく。</p>
	<p>教員間での研修等を行い、各々の専門分野における知識を共有していく。（社会）</p>	<p>教員間で地域巡検を行い、本校の周辺にある地理的・歴史的な遺産についての理解を深めることが出来た。</p>	<p>生徒・学生に向けても多様な情報を発信し、それぞれの専門性に応じた研修を企画していきたい。</p>	<p><b>B</b></p>	<p>・特になし。</p>	<p>A</p>	<p>教員間の情報交換を密にし、教科指導を一層充実させる。</p>



